



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社いい生活 上場取引所 東  
 コード番号 3796 URL <https://www.e-seikatsu.info/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 前野 善一  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 CFO (氏名) 塩川 拓行 TEL 03-5423-7820  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA (※)		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,338	5.2	519	51.5	104	—	110	—	67	—
2025年3月期第3四半期	2,223	8.4	343	△26.8	△54	—	△42	—	△36	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 67百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 △36百万円 (—%)

(※) 当社グループの業績に係る有用な比較指標として、EBITDA (営業利益+減価償却費) を開示しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	9.76	—
2025年3月期第3四半期	△5.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	2,530	1,905	75.3	276.10
2025年3月期	2,349	1,872	79.7	271.35

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,905百万円 2025年3月期 1,872百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	5.7	170	—	176	—	113	—	16.40

参考) EBITDA 2026年3月期通期 業績予想 733百万円 (前年同期比 46.5%)

(注) 当社グループの業績に係る有用な比較指標として、EBITDA (営業利益+減価償却費) を開示しております。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	7,280,700株	2025年3月期	7,280,700株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	379,323株	2025年3月期	379,323株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	6,901,377株	2025年3月期3Q	6,901,380株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

決算補足説明資料はTDnetで2026年2月12日（木）に開示し、同日、当社ホームページに掲載する予定であります。

<機関投資家・アナリスト向け決算説明会>

日時：2026年2月12日（木）16：00開始（説明：40分、質疑応答：20分程度を予定）

開催方法：オンライン説明会（Zoomウェビナー）

出席者：代表取締役副社長CFO 塩川 拓行

<ご参加方法>

ご参加にあたっては、下記URLより事前のご登録をお願いいたします。ご登録完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛に視聴用のURLをお送りいたします。

事前登録：[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_205ApULbTGS7IDYnDfabqg](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_205ApULbTGS7IDYnDfabqg)

<個人投資家向けIR説明会>

日時：2026年2月18日（水）18：30開始（説明：40分、質疑応答：20分程度を予定）

開催方法：オンライン説明会（Zoomウェビナー）

出席者：代表取締役副社長CFO 塩川 拓行

<ご参加方法>

ご参加にあたっては、2026年2月17日（火）までに下記URLより事前のご登録をお願いいたします。ご登録完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛に視聴用のURLをお送りいたします。

事前登録：[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_u-zQJIXARSmW6qb5UQ9hDw](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_u-zQJIXARSmW6qb5UQ9hDw)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	3
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書 .....	9
四半期連結包括利益計算書 .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

サブスクリプションが順調に推移し売上高は5.2%の増収、費用適正化とAI活用による生産性向上で前年同期比で黒字転換を実現、利益面の好進捗を受け、通期業績予想を上方修正

### <2026年3月期第3四半期業績ハイライト及び直近のトピックス>

- 売上高は前年同期比5.2%増の2,338百万円となりました。サブスクリプション売上がアップセル/クロスセルも堅調で解約率も引き続き低水準で推移していること等により、通期業績予想に対しほぼ想定どおりに推移しています。
- 営業利益は前年同期の営業損失から黒字転換、104百万円（前年同期比159百万円の増益）となりました。AIコーディングの導入やAIを活用した業務の刷新を進めた結果、費用構造の最適化と生産性の向上が進展、総費用を抑制しながら増収を増益に結びつけました。
- 経常利益は110百万円（前年同期比153百万円の増益）となり、第3四半期を経過した時点で通期業績予想を上回りました。利益面での高い進捗率と、第4四半期の堅調な見通しに基づき、通期業績予想を上方修正いたしました。
- EBITDAは前年同期比51.5%増の519百万円となりました。営業キャッシュフローは前年同期比約2.5倍の598百万円へと拡大し、創出したキャッシュをパーティカルSaaSプロダクト群の拡充へ再投資する成長のサイクルを継続しています。

### <IR情報（決算説明資料等）について>

2026年3月期第3四半期の決算説明資料及び直近の業績（月次の売上推移）については当社IR情報サイトよりご覧ください。

IR情報サイト：<https://www.e-seikatsu.info/IR/>

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日~2025年12月31日)における業績につきましては、売上高は2,338,645千円(前年同期比5.2%増)、EBITDA(営業利益+減価償却費)は519,763千円(前年同期比51.5%増)、営業利益は104,594千円(前年同期営業損失54,544千円)、経常利益は110,530千円(前年同期経常損失42,614千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は67,331千円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失36,284千円)となりました。

連結業績概要	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	対前年同期	
	(千円)	(千円)	差額(千円)	増減率(%)
売上高	2,223,047	2,338,645	115,597	5.2
EBITDA	343,112	519,763	176,651	51.5
営業利益又は営業損失(△)	△54,544	104,594	159,139	—
経常利益又は経常損失(△)	△42,614	110,530	153,144	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,284	67,331	103,616	—

当社グループは、「テクノロジーと心で、たくさんのいい生活を」というミッションの実現に向け、「心地いい暮らしが循環する、社会のしくみをつくる」というビジョンを掲げております。不動産市場における様々な課題を解決するSaaS(継続課金モデルのクラウドサービス)を核とし、最新のAI技術やデジタル活用を通じた業務プロセスの変革により、不動産市場のデジタルトランスフォーメーション(DX)を強力に支援する事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,338,645千円(前年同期比5.2%増)となりました。

主力事業であるサブスクリプション売上は、2,010,226千円(前年同期比6.2%増)と堅調に推移し、成長を牽引いたしました。顧客数は1,575法人(前年同月1,563法人)と着実な増加を維持するとともに、平均月額単価は約147,100円(前年同月比7.4%増)へと上昇しました。これは、既存顧客への追加サービス提供(クロスセル・アップセル)が順調に進展していることに加え、導入初期から利用規模の大きい高単価な新規顧客の獲得が継続していることによるものです。

特に、解約率はマイナス0.06%と極めて低い水準(ネガティブ・チャーン)を達成しており、既存顧客の維持のみならず、顧客基盤内での収益拡大が加速する成長モデルを実現しております。

ソリューション売上については、SaaS導入支援プロジェクトとしてのデータモダナイゼーション等が着実に進捗しており、328,419千円(前年同期比0.3%減)と、概ね前年同期並みの水準を維持しております。

(※1)「当月のサブスクリプション売上高」を「当月のサブスクリプション顧客数」で除した数字で、100円未満を切り捨てております。

なお、売上高の内訳については下記の通りであります。

品目詳細	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		対前年同期	
	売上高(千円)	構成割合(%)	売上高(千円)	構成割合(%)	差額(千円)	増減率(%)
サブスクリプション(注)1	1,893,619	85.2	2,010,226	86.0	116,606	6.2
ソリューション(注)2	329,427	14.8	328,419	14.0	△1,008	△0.3
合計	2,223,047	100.0	2,338,645	100.0	115,597	5.2

(注) 1. サブスクリプション : SaaSの月額利用料収入やSaaS導入後の運用支援契約に基づく経常的な収入など、解約の申し出がない限り毎月継続的に発生する収益であり、当社のMRR(Monthly Recurring Revenue、月間経常収益)であります。

2. ソリューション : SaaSの初期設定、スポットのシステム導入・運用支援、システムの受託開発、他社サービスの代理店販売・紹介料など、その他のサービスに係る収益であります。

利益面においては、当第3四半期連結累計期間を通じて、AIの活用や業務プロセスの刷新を通じた生産性向上に注力いたしました。

売上原価につきましては、前期のPRODUCT投資に伴う減価償却費が増加したものの、開発体制の内製化推進や外部委託の見直しにより、外注費が大幅に減少いたしました。また、開発プロセスにおいては、①機動的なチーム編成（スモールチーム化）、②継続的デリバリの強化、③全体最適を実現するPRODUCTマネジメントの強化及び投資の最適化を柱としたエンジニアリング組織の抜本的強化に取り組みました。

さらに、ソリューション売上を構成するデータモダナイゼーション業務の標準化を進めたことで、労働集約的な工程においても、事業拡大に伴うマンパワーへの依存度を段階的に低減させ、より生産性を重視した運営体制への移行を推進しております。

こうしたテクノロジー活用と業務刷新による効率化の結果、人員構成の最適化が進み、人件費および求人関連費が低減いたしました。以上の結果、売上原価は979,049千円（前年同期比7.0%減）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、期初に入社した新卒社員の育成・戦力化を優先し、将来の成長に向けたマーケティング投資等を継続した結果、1,255,001千円（前年同期比2.4%増）となりました。

以上の結果、EBITDAは519,763千円（前年同期比51.5%増）、営業利益は104,594千円（前年同期は54,544千円の営業損失）となり、大幅な黒字転換を達成いたしました。

また、米ドル建てでの取引に係る為替リスクの低減手段として為替予約を行っており、当第3四半期連結会計期間における円安の影響で当該為替予約に係る為替差益が営業外収益として発生いたしました。その結果、経常利益は110,530千円（前年同期は42,614千円の経常損失）となりました。

なお、当社グループの開示上の報告セグメントは「クラウドソリューション事業」の単一セグメントであるため、セグメントの業績については記載を省略しております。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債、純資産及びキャッシュ・フローの状況に関する分析)

### ①資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、2,530,398千円となり、前連結会計年度末から180,827千円の増加となりました。

流動資産の残高は734,639千円となり、前連結会計年度末から140,159千円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加260,614千円等によるものであります。

また、固定資産の残高は1,795,759千円となり、前連結会計年度末から40,668千円の増加となりました。これは主に、ソフトウェアの増加55,209千円等によるものであります。

### ②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は624,911千円となり、前連結会計年度末から148,002千円の増加となりました。

流動負債の残高は519,465千円となり、前連結会計年度末から45,336千円の増加となりました。主な増加要因は、手元資金の流動性維持のための短期借入金の増加68,640千円、未払金等の増加28,059千円等であります。主な減少要因は、賞与引当金の減少50,640千円、前受金の減少37,419千円等であります。

また、固定負債の残高は105,446千円となり、前連結会計年度末から102,666千円の増加となりました。主な増加要因は、手元資金の流動性維持のための長期借入金の増加102,760千円等であります。

### ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,905,486千円となり、前連結会計年度末から32,824千円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加67,331千円及び配当金の支払いに伴う利益剰余金の減少34,506千円等によるものであります。

### ④キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比べて260,614千円増加し、606,164千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

#### (i) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、598,938千円の増加（前年同期236,250千円の増加）となりました。主な収入の要因は、減価償却費415,169千円、税金等調整前四半期純利益110,601千円等であります。主な支出の要因は、賞与引当金の減少額50,640千円及び前受金の減少額37,419千円等であります。

#### (ii) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、477,410千円の減少（前年同期520,778千円の減少）となりました。支出の要因は、SaaSの新規開発・機能拡充等に係る無形固定資産の取得による支出463,143千円等であります。

(iii) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、137,245千円の増加（前年同期34,682千円の減少）となりました。収入の要因は、手元資金の流動性維持のための長期借入れによる収入200,000千円等であります。支出の要因は、配当金の支払額34,154千円、長期借入金の返済による支出28,600千円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向を踏まえ、2026年3月期の連結業績予想について、2025年5月15日に公表いたしました数値から以下のとおり修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	円 銭
前回発表予想 (A)	3,196	107	106	72	10.57
今回修正予想 (B)	3,200	170	176	113	16.40
増減額 (B-A)	4	63	69	40	
増減率 (%)	0.1	59.3	64.8	55.1	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	3,028	△37	△42	△39	△5.73

参考) EBITDA 2026年3月期通期 前回発表予想 681百万円 今回修正予想 733百万円 (増減率7.6%)

(注) 当社グループの業績に係る有用な比較指標として、EBITDA (営業利益+減価償却費) を開示しております。

「当四半期の経営成績の概況」に記載のとおり、売上高がほぼ想定どおり推移した一方、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については業績予想を上回る見込みであります。

売上原価について、顧客の「温度感」「空気感」まで共有するリアルベースのコミュニケーション、開発チームのスマールチーム化と裁量範囲の拡大などを基軸とした「顧客の課題を進んで収集し、クラフトマンシップをもって解決する」自律型エンジニアリング組織の実現に向けた抜本的強化に取り組みました。並行して顧客の課題感を深掘りし、潜在的なニーズを適切にとらえ、スピーディーに機能実装・アップデート提供を行い売上成長を加速させる体制の構築に向け、AIコーディングの本格的導入、開発生産性を測定する新たなKPIの策定・導入、開発投資の優先順位や配分に関するマネジメント体制の強化等にも取り組んでまいりました。

また、ソリューション売上を構成するデータモダナイゼーション業務の標準化を進め、労働集約的な工程においても、事業拡大に伴うマンパワーへの依存度を段階的に低減させ、より生産性を重視した運営体制への移行を推進いたしました。

こうしたテクノロジー活用と業務刷新による効率化の結果、人員構成の最適化が進み、人件費および求人関連費が低減いたしました。

以上の結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について予想を上回る見込みとなり、予想からの変動が30%以上となることから当該業績予想を修正致しました。

当社は不動産領域に特化したパーティカルSaaSプロバイダーとして、賃貸管理・仲介から売買、物件情報流通に至るまで、不動産ビジネスの全工程を網羅的に支える「マルチプロダクト戦略」を推進してまいりました。単なる機能の提供に留まらず、各業務フェーズに最適化されたプロダクトを複合的に提供することで、お客さまの業務全体のデジタルトランスフォーメーション (DX) に寄与しております。

今般の業績予想の修正は、こうした戦略的な事業展開を継続しながらも、プロセスの標準化とテクノロジー活用による省力化への対応を進め、事業拡大に伴うコスト増を抑制するスケラビリティの高い事業構造への移行が着実に進捗していることを示すものと考えております。

今後も、このような効率的な運営基盤をレパレッジとし、来期以降のさらなる成長加速と、当社ミッション・ビジョンの実現に向けた事業展開に邁進してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	345,549	606,164
受取手形、売掛金及び契約資産	115,715	63,950
仕掛品	30,815	14,150
前払費用	82,882	60,711
為替予約	693	5,141
その他	31,906	3,245
貸倒引当金	△13,082	△18,726
流動資産合計	594,479	734,639
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	67,029	67,029
減価償却累計額	△44,163	△47,037
建物附属設備(純額)	22,866	19,992
工具、器具及び備品	179,252	159,544
減価償却累計額	△146,976	△131,178
工具、器具及び備品(純額)	32,275	28,366
有形固定資産合計	55,142	48,358
無形固定資産		
商標権	933	846
ソフトウェア	1,346,699	1,401,908
ソフトウェア仮勘定	171,892	180,687
無形固定資産合計	1,519,525	1,583,442
投資その他の資産		
ゴルフ会員権	42,000	42,000
敷金及び保証金	74,162	72,801
長期前払費用	23,687	21,774
繰延税金資産	40,573	27,382
投資その他の資産合計	180,424	163,959
固定資産合計	1,755,091	1,795,759
資産合計	2,349,571	2,530,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	-	68,640
未払金	102,352	130,411
未払法人税等	16,241	34,492
前受金	229,650	192,230
預り金	15,372	23,686
賞与引当金	67,933	17,293
その他	42,579	52,710
流動負債合計	474,129	519,465
固定負債		
長期借入金	-	102,760
預り保証金	2,779	2,686
固定負債合計	2,779	105,446
負債合計	476,908	624,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,411	628,411
資本剰余金	718,179	718,179
利益剰余金	664,686	697,510
自己株式	△138,614	△138,614
株主資本合計	1,872,662	1,905,486
純資産合計	1,872,662	1,905,486
負債純資産合計	2,349,571	2,530,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,223,047	2,338,645
売上原価	1,052,417	979,049
売上総利益	1,170,630	1,359,596
販売費及び一般管理費	1,225,174	1,255,001
営業利益又は営業損失(△)	△54,544	104,594
営業外収益		
受取利息	55	367
為替差益	11,640	7,387
雑収入	102	320
受取手数料	251	348
未払配当金除斥益	332	335
営業外収益合計	12,382	8,759
営業外費用		
支払利息	-	906
支払手数料	452	452
雑損失	-	1,466
営業外費用合計	452	2,824
経常利益又は経常損失(△)	△42,614	110,530
特別利益		
固定資産売却益	-	71
特別利益合計	-	71
特別損失		
固定資産除却損	1,577	-
特別損失合計	1,577	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△44,191	110,601
法人税、住民税及び事業税	4,493	30,080
法人税等調整額	△12,399	13,190
法人税等合計	△7,906	43,270
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,284	67,331
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,284	67,331

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,284	67,331
四半期包括利益	△36,284	67,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,284	67,331

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△44,191	110,601
減価償却費	397,657	415,169
固定資産除却損	1,577	—
固定資産売却益	—	△71
為替差損益(△は益)	△9,307	△6,290
貸倒引当金の増減額(△は減少)	764	5,643
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,253	△50,640
受取利息及び受取配当金	△55	△367
支払利息	—	906
売上債権の増減額(△は増加)	△4,739	51,764
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,125	16,664
未払金の増減額(△は減少)	△1,259	33,694
前受金の増減額(△は減少)	△6,508	△37,419
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,543	10,873
預り保証金の増減額(△は減少)	△30	△93
その他	3,916	31,849
小計	290,988	582,286
利息及び配当金の受取額	55	367
利息の支払額	—	△906
法人税等の支払額	△54,793	△7,762
法人税等の還付額	—	24,953
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>236,250</b>	<b>598,938</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34,786	△14,166
有形固定資産の売却による収入	—	79
無形固定資産の取得による支出	△484,630	△463,143
敷金及び保証金の回収による収入	97	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,458	△180
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△520,778</b>	<b>△477,410</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	—	△28,600
自己株式の取得による支出	△14	—
配当金の支払額	△34,667	△34,154
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△34,682</b>	<b>137,245</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,268	1,841
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△317,941	260,614
現金及び現金同等物の期首残高	739,371	345,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	421,430	606,164

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。